学校番号	２１５

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「新政治・経済」（第一学習社出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の回りのことに注意深く興味をもつ。
・現代社会の仕組みを知ろうとする。
・マスメディアなど多方面から情報を収集しながらも情報に流されない力を養う。
・選挙資格を有する年代なので、社会人としての自覚をもつ。

2　学習の到達目標

１．広い視野に立って、民主主義の本質に関しての理解力を養う。
２．現代における政治、経済、国際関係において客観視できる力を培う。
３．現代の諸課題について主体的に考察することができる。
４．公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見出し、その本質や人間の存在価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察している。社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する事柄や、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業時の発問に対する回答	授業時の発問に対する回答 定期考査	プリント作業（資料読み取りなどの） 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第1編　現代の政治	第1章　民主政治の基本原理と日本国憲法 ①政治とは何だろうか？ ②民主政治の展開 ③人権保障の発達 ④議会制民主主義と政治の特質 ⑤日本国憲法の成立 ⑥日本国憲法の基本原理 ⑦平和主義と自衛隊 ⑧日本の安全保障 ⑨安全保障と日本の防衛 ⑩法の下の平等と自由権 ⑪豊かに生きる権利 ⑫新しい人権	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:民主政治の本質を把握しながら、昨今の日本国憲法をめぐる論点について関心をもち、政治と私たちとの関わりについて追究しようとしている。 b:基本的人権がどのように確立し、国際的に広がっていったのか、また、日本ではどのように人権が保障されているかを考察している。 c:人権の裁判例から問題点を読み取り、その解決策を模索し適切に表現することができる。 d:日本国憲法の三大原理について理解し、その知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
1学期期末	第1編　現代の政治	⑬国会の組織と機能 ⑭国会の権限と衆議院の優越 ⑮内閣の機構と機能 ⑯裁判所の機能と人権保障 ⑰地方自治制度と住民の権利 ⑱政党政治と圧力団体 ⑲日本の選挙制度とその課題	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国会、内閣、裁判所などの日本の政治機構や選挙などの制度にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めようとしている。 b:日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点や課題について考察しようとしている。 c:裁判員制度や衆議院・参議院の選挙結果を報道資料などから読み取り、自分の考えを表現しようとしている。 d:マスメディアなどからの情報を自分なりに取捨選択し、主権者としての知識を身に付けようとしている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査

2学期中間	第1編 現代の政治	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の役割と国際協力 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④今日の国際社会 ⑤国際政治の特質と国際紛争の諸要因 ⑥核兵器の廃絶と軍縮問題 ⑦国際平和と日本の役割	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ＮＰＯや多国籍企業など国家以外の機関や国際連合の活動を理解しながら、国際政治への関心を高めようとしている。 b:民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察しようとしている。 c: 国際平和問題について、世界の核兵器の保有状況などから、さまざまなメディアを利用して調査したり、図表を読み取ったりしてまとめようとしている。 d:冷戦終結後の国際社会が冷戦時代と比べ、どのように変化してきたかを理解しようとしている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
2学期期末	第2編現代の経済	第1章 現代経済のしくみと特質 ①資本主義経済のしくみ ②資本主義経済の課題と社会主義経済の変容 ③経済主体と経済活動 ④市場経済の機能と限界 ⑤景気変動と経済成長 ⑥インフレーションとデフレーション ⑦財政のしくみとはたらき ⑧租税と国債 ⑨資金の循環と金融市場 ⑩日本銀行と金融政策 ⑪日本経済の歩み ⑫今日の日本経済	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:社会主義経済の特徴と比較しながら資本主義経済の特徴を理解し、物価変動が及ぼす影響や財政・金融の仕組みや役割について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:市場経済の機能を、「需要と供給」の関係から正しく理解し、身近な例を取り上げて考察しようとしている。 c:景気変動や経済成長について、諸資料を利用する。そこから日本の現状を理解し、諸外国の現状と比較しようとしている。 d:経済成長とともに、人々の生活が豊かになる一方で、公害など、さまざまな社会問題が発生していることを認識しようとしている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査

3学期	第2編現代の経済	⑬中小企業と農業	○			○	a:大企業と中小企業、消費者、労働、社会保障や環境などの問題点を考察しようとしている。さらに、国際経済の問題点にも関心を高めようとしている。 b:現代社会の諸課題について、様々な視点で客観的な立場に立って考察し、話し合いやレポートなどによって自分の意見を表現しようとしている。 c: 現代社会の諸課題をマスメディアなどの報道情報や諸資料から読み取り、見出そうとしている。 d:対比する意見など参考に、様々な考えや立場を理解しながら知識を身に付けようとしている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
		⑭消費者問題	○	○		○		
		⑮高度情報社会	○			○		
		⑯労働関係の改善	○	○	○	○		
		⑰社会保障制度の充実	○	○	○	○		
		⑱公害防止と環境保全	○	○	○	○		
		⑲地球環境問題	○	○	○	○		
		第2章　国民経済と国際経済						
		①国際経済のしくみと現状	○			○		
		②為替相場のしくみ	○		○	○		
		③国際協調と国際経済機関の役割	○			○		
		④地域的経済統合の動き	○			○		
		⑤経済摩擦問題とグローバル化	○			○		
		⑥国際経済の諸問題と日本の役割		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。